

副送水チューブ MAJ-2021

【形状・構造及び原理等】

構造・構成ユニット

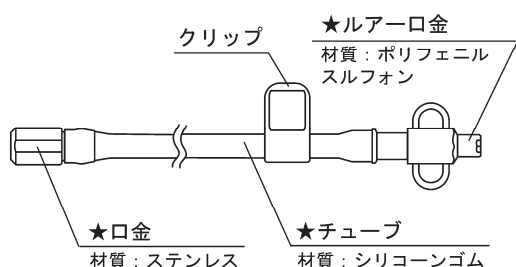
1.構成

本製品は以下の構成からなり、チューブ、ルアー口金、口金、クリップから構成されている。

・副送水チューブ MAJ-2021

2.各部の名称

★は、使用中生体粘膜などに触れる部分である。



※図で示せない間接的に生体に接触する内部的な部材は以下のとおり。

★逆止弁

体腔からの体液の逆流を防止するための弁。
材質：シリコーンゴム

3.仕様

全長 : 1150mm

作動・動作原理

内視鏡に口金を接続し、もう一方にあるルアー口金に接続したシリンジ、または送水ポンプから送水する。ルアー口金部分には逆止弁があり、逆流を防止する。

【使用目的又は効果】

使用目的

本品は、当社指定の副送水機能付き超音波内視鏡と組み合わせて、副送水チャンネルに滅菌水、洗浄液、消毒液を注入することを目的とする。

【使用方法等】

1.洗浄、消毒、滅菌

決められた方法で洗浄、消毒または滅菌を行う。

2.内視鏡への接続

超音波内視鏡の副送水口金に副送水チューブの口金を接続する。

3.滅菌水の注入

(1)滅菌水で満たされたシリンジ、または送水ポンプに接続された送水チューブを、ルアー口金に接続する。

(2)滅菌水をシリンジ、または送水ポンプから注入する。

4.内視鏡からの取りはずし

内視鏡検査終了後、ベッドサイド洗浄を実施し、超音波内視鏡の副送水口金から副送水チューブを取りはずす。

5.洗浄、消毒、滅菌

使用後は 1 項と同様に洗浄、消毒、滅菌を行う。

使用方法に関する詳細については、本製品の『取扱説明書』を参照すること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

一般的事項

- 1.本製品は、使用前に洗浄、消毒、滅菌を行うこと。洗浄、消毒（または滅菌）せずに使用すると感染するおそれがある。
- 2.本製品のルアー口金部分には、逆流を防ぐための逆止弁が備えられている。ルアー口金がチューブからはずれた状態で使用しないこと。ルアー口金がチューブに取り付けられていないと、汚物が逆流して装置を汚染するだけでなく、患者に感染を起こすおそれがある。
- 3.滅菌水のみを使用すること。滅菌水以外を使用すると、細菌が繁殖したり、管路が詰まったりするおそれがある。また、患者が感染したり、炎症を起こすおそれがある。

不具合

その他の不具合

故障、破損、劣化、汚染

有害事象

その他の有害事象

感染

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

使用後は、『取扱説明書』に従い、洗浄／消毒／滅菌および保管すること。

耐用期間

本製品は消耗品（修理不可能）である。『取扱説明書』に従って点検を実施し、異常があれば新品と交換すること。

【保守・点検に係る事項】

洗浄、消毒、滅菌方法

1. 『取扱説明書』に記載の、洗浄、消毒、滅菌に使用できる薬剤を使用すること。それ以外の薬剤については、オリンパスに問い合わせること。
 2. 滅菌の前に十分に洗浄、消毒し、滅菌効果を妨げる微生物や有機物を取り除くこと。なお、洗浄時に洗浄液が過度に泡立たせないようにすること。
 3. 消毒の全工程で完全に浸漬し、外表面や管路内の気泡を完全に除去すること。
 4. 管路内に洗浄液および消毒液が残らないように、滅菌水で十分に洗い流すこと。管路内をすすぐ際には、消毒液をすすいだ後に、空気を注入し、十分に乾燥させること。
 5. 推奨条件を超えてオートクレーブをしないこと。本製品が破損するおそれがある。
- *6. 本添付文書および本製品の『取扱説明書』に記載している洗浄、消毒、滅菌方法では、クロイツフェルト・ヤコブ病の病因物質であるプリオンを消失または不活化することはできない。クロイツフェルト・ヤコブ病患者に本製品を使用する場合は、その患者専用の機器として使用するか、使用後適切な方法で廃棄すること。クロイツフェルト・ヤコブ病への対応は、種々のガイドラインに従うこと。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先
TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

取扱説明書を必ずご参照ください。